

浜田市学校図書館活用教育研究指定校  公開授業 研究協議	保健体育科  平成 28 年 12 月 16 日（金）多目的教室
<p>研究の視点</p> <p>①視覚に訴える映像や資料を用いたことは、生徒がじっくり思考・考察をする上で有効であったか。</p> <p>②グループによる活動で話し合ったことは、生徒が自分の考えを深め、気づきを生み出すことにつながったか。</p>	

●①について

- ・図書資料，新聞記事，写真，映像などたくさんの資料があったが，量が多く使いきれなかった。絞る必要があるのではないか。
- ・災害当時のニュース映像にはインパクトがある。授業のどこで見せたら効果的だろうか。
- ・昨年，総合的な学習の時間に，避難所設営をした時の写真があれば，自分たちが何を考えながら設営したかが想起しやすかったのではないか。
- ・調べる学習に取り組んだH君がこれまでの学びを語る，という方法もあったのではないか。

●②について

- ・一斉授業になりがちな内容をグループ学習の形態で取り組んだことはチャレンジだった。
- ・めあて，課題の文言や示し方も生徒の活動を左右する。
- ・活動が多かったので，やりながら指示を聞くことになってしまった。指示や活動を吟味，絞ることの大切さ。ワークシートの大部分は必要なかった。
- ・災害の備えについて発表した際，他のグループからは出ていないものがあった。‘つかい棒’，‘自分に関する情報’…何のためなのか聞いてみれば深まりが出たかも。
- ・ホワイトボードの使用は上手になってきてはいるが，意見をたくさん出すためなのか，発表するためなのか，目的に合わせてうまく活用できるとよい。

●③その他について

- ・映像資料を手に入れるのが難しかった。（神戸や防衛省への問い合わせ）
- ・視覚に訴える資料として，たとえば災害の写真集などはタイムリーにしか出されない。市立図書館で購入し，必要な時に貸し出してもらえないようにならないだろうか。

## ●指導助言●

〈澤田 出 指導主事より〉

- 学びの積み重ねができています。また、教える側が鍛えたいことのイメージを共有していることがよい。
- 弥栄中では 2 年生がプレゼンテーションをすると決めて取り組んでいる。少人数でも、生徒がまんべんなくチャレンジし取り組むことができています。
- 小学校 2 年生でも学校によってはキーワードで発表する訓練をしている。プレゼンテーションができるということは、順を追ってレポートが整理できるということだ。
- 今回は保健体育の授業だったが、昨年度の総合的な学習とつながっている。体験を想起させ知識につなげられるよう、特定の教科だけでなく横断的な取り組みができています。
- 佐藤先生の「阪神大震災のことを伝えたい。」という思いにあふれた授業だった。横山さんの朗読が時間的に入らなくなってしまったが、心情面に訴えるという方法も。
- 図書館活用のアクティブラーニング。‘学校長は図書館長でもある。’